



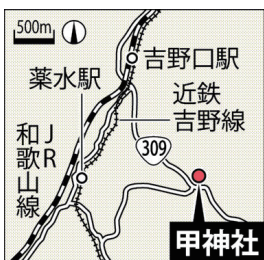
甲神社本殿と、左右に並ぶ境内社の伊勢神社、春日神社

＝大淀町今木で



やまどの
神さま

甲神社 (大淀町)



県内には蘇我入鹿にまつわる場所がいくつかあ

りますが、入鹿の甲が奉納されたと伝わる大淀町の甲神社もその一つです。祭神は大己貴命、素戔鳴命など4柱で入鹿ではありませんが、古くから入鹿大明神と称され、氏子の今木地区住民に大切に守られてきまし

た。「大淀町史」などによると、6世紀に朝鮮半島特に百濟から織物、須恵器作りなどを伝えた人たちがこの地区などに移り住み「今木の才伎」と呼ばれました。蘇我氏はこれらの渡来人を保護したとされ、入鹿もこうした人たちと関係があったとは松皮葺で、千木や鰹

木が設けられています。境内社は伊勢神社と春日神社で、いずれも春日造。伊勢神社には天照大神が祭られています。本殿の横には神木と遥拝所があり、ここから伊勢方向を拜むことができます。秋の祭礼は10月第2日曜日。前日の宵宮に各地の提灯で作られたススキ提灯が境内に立てられ、翌日の本祭へ気持ちを高めます。

(奈良まほろばソムリエの会会員 柳原恵子)

入鹿の甲奉納の伝説

- (住所) 大淀町今木367
- (祭神) 大己貴命、素戔鳴命、月読命、保食命
- (交通) JR和歌山線・近鉄吉野線
- (駐車場) あり(1台)
- (電話) なし
- (拝観) 自由
- 「吉野口駅」から徒歩約30分